


令和2年度 遠軽町まちづくり会議全体会議議事録

日 時	令和3年3月15日(月) 18:30~19:30	
場 所	遠軽会場：遠軽町役場第3・4会議室 丸瀬布会場：丸瀬布中央公民館 白滝会場：白滝総合支所 上記3会場に分散し、オンライン会議にて開催	
出席者	24名(遠軽会場 12名、丸瀬布会場 6名、白滝会場 6名)	
欠席者	8名	
次第	発言者	発言要旨
1 開会	企画課長	ただ今より令和2年度遠軽町まちづくり会議全体会議を開催する。始めに町長からご挨拶を述べる。
2 町長挨拶	町長	<p>このまちづくり会議の前身である地域審議会は、合併特例法に基づきやってきた。一度区切りとして終わったが、当時の参加者から、これからもいろいろな話をあげたいということで、5年間この会議を置いた。その間、皆さんは相当な回数集まり、メンバーも若い人から人生経験豊富な方、女性の方が加入して進めてこられた。町にとってもいろいろな提案が挙がり、皆さんにとっても勉強になったのではないかと思います。</p> <p>合併して15年が過ぎたが、合併していなければ、現在の町の政策である医療・教育・農業などを支える各施策はできていなかった。私は遠軽町の合併は正解だと思う。今後は合併の優遇策がなくなる。これから大事な時期に入ってくるので、今日の会議で出される意見を参考にしていきたい。</p>
3 経過報告	企画課主幹	<p>※資料1により説明</p> 

遠軽町まちづくり会議の概要

【発足】

平成28年度、合併特例法に基づく「地域審議会」が10年の期限を終えたことに伴う後釜として「まちづくり会議」を設置
町政全般に関し、住民と意見交換する会議に位置付け

【構成】

旧町村の区域ごとに10名以内を委嘱

【設置期間】

5年間（H28～R2） 第1期H28～H30、第2期R1～R2



平成28年度の経過

- ・第1期委員40名（各地域10名）を委嘱
- ・「生田原・遠軽」「丸瀬布・白滝」の合同会議を各1回開催
- ・町から新たな道の駅、町民センター、スポーツ広場、高規格道路延伸などについて情報提供
- ・町長からまちづくりに関する講話
- ・「子どもの遊び場について」「農業支援」「学校の統廃合」「転入者対策」などについて意見交換



平成30年度の経過

遠軽町まちづくり会議

平成30年度は、町政全般に関し、住民と意見交換する会議に位置付け、町民の声を聴き、町政の改善に努めました。

合同会議

「生田原・遠軽」「丸瀬布・白滝」の合同会議を開催し、町民の声を聴き、町政の改善に努めました。

町民会議

町民の声を聴き、町政の改善に努めました。

町長講話

町長からまちづくりに関する講話を行いました。

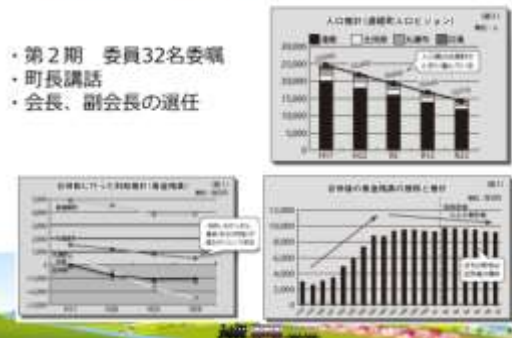
意見交換

「子どもの遊び場について」「農業支援」「学校の統廃合」「転入者対策」などについて意見交換を行いました。



令和元年度の経過

- ・第2期 委員32名委嘱
- ・町長講話
- ・会長、副会長の選任



令和2年度の経過

- 地域において会議を各1～2回開催
- 地方創生や財政改善に向けた意見交換



4 各地
域報告

企画課長

次に生田原地域の報告をお願いします。

生田原地域
委員

※資料 2-1 により報告

資料2-1

生田原地域まちづくり会議 報告

R3.3.15 (月) 18:30～
遠軽町役場 3階第3・4会議室
生田原地域まちづくり会議一同

生田原地域まちづくり会議の開催状況

日時	場所	協議事項
3月16日 (木) 18:30～20:50	生田原総合支所	• 意見交換
7月20日 (月) 18:30～21:30	生田原総合支所	• 若者対策について • 高齢者対策について • ふるさと納税の促進について
10月5日 (月) 18:30～	生田原総合支所	• 全体会議における報告内容について

生田原地域まちづくり会議の討議テーマ

1. 若者対策
2. 高齢者対策
3. ふるさと納税の促進

1 若者対策

【若者のニーズ把握】

- ・会議などではなく、リラックスした雰囲気（インタビュー、SNS、しゃべり場など）聞く
- ・話を聞いて町政に反映するプロセスが必要
- ・意見交換のプラットフォーム

【しごと】

- ・空き公共施設を活用してテレワーク施設を整備
- ・多様な働き方、住み方への柔軟な対応
- ・町内でできる職業の見える化（パンフレット）
- ・企業誘致、事業継承

【情報発信】

- ・若者が利便を感じる、魅力的な発信

【U I J ターンへの支援】

- ・自家用車を貸与
- ・ひとり親家庭にターゲットを絞る
- ・実家が空家となっている場合のリフォーム費用支援
- ・家賃・保育料・出産補助
- ・空家情報の提供
- ・返還免除付き奨学金制度
- ・水酸化に対する補助の拡充
- ・テレワーク環境の整備

【教育】

- ・町のことをもっと知る教育

2 高齢者対策

【買物支援】

- ・町営バスで遠軽への買物ツアー
- ・介護保険だと生田原のお店しか利用できない

【公共交通】

- ・利用者の声をもっと反映
- ・便数が少なくなり、更に利用しにくい
- ・町民がバスやタクシー事業者の株式を持つ

3 ふるさと納税の促進

【情報発信】

- ・お金をかけてでも受付サイトで目立たせるために工夫を
- ・人員、予算をもっと投入

【返礼品アイデア】

- ・ヤマベ釣りガイドツアー
- ・野菜などの定期便
- ・エゾウコギ、チョウセンゴミシ
- ・石器づくり
- ・海産物（湧別町と共同開発）
- ・企業や農家と話し合う
- ・町有施設の回数券
- ・高原メロン
- ・山菜
- ・はちみつ
- ・コスモス栽培キット（種と土）

4 今後のまちづくり会議について

- まちづくり会議については、継続した方がいい
(以下、付帯意見)
- 団体を代表して参加（代理出席も可能にする）
- 年代別だと話しやすい
- 財政・人口の話をするると議論に制約が出る
- リモート会議で開催する

企画課長

次に遠軽地域の報告をお願いします。

遠軽地域委員

※資料 2-2 により報告

資料2-2

遠軽地域まちづくり会議 報告

R3.3.15（月）18：30～
遠軽町役場第3・4会議室
遠軽地域まちづくり会議一同

遠軽地域まちづくり会議の開催状況

日時	場所	協議事項
3月10日（木） 18：30～20：30	遠軽町福祉センター	・意見交換
8月3日（月） 18：30～21：20	遠軽町福祉センター	・遠軽地区都市再生整備計画について ・若者が住みたくなる、住み続けたくなるまちづくりについて ・合資誘致について ・ふるさと納税の促進について ・公共施設の見直しについて
10月1日（木） 18：30～	遠軽町福祉センター	・全体会議における報告内容について

1 若者が住みたくなる、住み続けたくなるまちづくり

目的

背景・提案理由

提案

若者定住

- 若者に地元企業に就職してもらいたい
- 家賃水準が高いが、住宅手当制度などがない事業所が多い
- 民間住宅は一定程度供給されている

【町内企業への就職支援事業】

- ・町内に本社のある事業所に就職する若年者に家賃補助（年限あり）

1 若者が住みたくなる、住み続けたくなるまちづくり（その他の意見）

【PR方法】

- ・見せ方が大事。視覚的に伝える
- ・「こういう人に来てもらいたい」を明確にして発信する
- ・災害の少なさを売りにする
- ・コロナ禍、テレワーク、アフターコロナを念頭に

【しごと】

- ・求人情報をホームページに載せる
- ・雇用のミスマッチを解消
- ・高校生に仕事に触れる機会を作る

【その他】

- ・お試し暮らし住宅の活用
- ・移住コーディネーター
- ・帰って来たくなるまちづくり

2 合宿誘致

- ・情報発信が重要（動画など）
- ・移動の支援が重要
- ・誘致目的が経済効果とするならば、社会人合宿だが、施設・設備の状況とマッチするか？
- ・若い人向けにトイレ、シャワー、Wi-Fi整備が必要。
- ・ケータリングサービスの充実
- ・メトロプラザやサマーゲレンデの活用
- ・大会等をもっと周知し、町ぐるみで盛り上げる

3 ふるさと納税の促進


【情報発信】

- ・「無添加」などキーワードを意識
- ・受付サイトの写真の充実
- ・受付サイトを増やす
- ・町ぐるみのPR

【返礼品アイデア】

- ・食品に力を入れる
- ・熊の爪アクセサリー
- ・コスモスのジャムなどコスモス関連商品の開発
- ・パッケージの改善
- ・エゾシカハンティングツアー
- ・メトロプラザのホール貸し出し
- ・昆虫の里親制度
- ・かぼちゃを使った商品
- ・目に付くネーミング、新しい視点



	<p>4 公共施設見直しの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧遠軽小学校の活用 ・テレワーカー誘致に空き施設を活用 ・使わないものは売る（ドローンの動画で状況を発信） ・（公共施設外だが）瀬戸瀬温泉の活用 ・売れるものは売る ・少しでも早く取り組む <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒との合同会議 ・情報発信にはお金をかける ・Youtube動画の充実 ・来年度以降もまちづくり会議は継続、新しい視点を入れたい
企画課長	次に丸瀬布地域まちづくり会議の報告をお願いする。
丸瀬布地域 委員	<p>※資料 2-3 により報告</p> 

丸瀬布地域まちづくり会議の開催状況

日時	場所	協議事項
3月日（木） 18：00～20：50	丸瀬布コミュニ ティセンター	
7月14日（月） 18：30～21：05	丸瀬布コミュニ ティセンター	



丸瀬布地域まちづくり会議の討議テーマ

1. 冬のいこいの森の活用
2. ふるさと納税の促進
3. 公共施設の見直し



1 冬のいこいの森の活用

【背景】

- ・いこいの森は遠軽町の観光資源の目玉だが、冬は閉園している
- ・氷結した山彦の滝の活用
- ・雨宮21号の雪中運行の人気の高い
- ・北畝ブーム、ソロキャンプブーム
- ・地域おこし協力隊による焚火カフェ、ウインターキャンプの取組

- ・雨宮21号の雪中運行の恒常化はスタッフ確保、除雪等のコスト、恒常化によるプレミア感低下などの課題あり。記念時に実施とすべき
- ・ウインターキャンプは装備の充実やスタッフ確保の課題があるが、改善して2回目を開きたい
- ・氷結した山彦の滝はもっと活用価値がある



2 ふるさと納税の促進

【返礼品の充実】

- ・返礼品の数を増やす
- ・雨宮21号、汽笛鳴らし体験、出発合図体験、火入れ体験など
- ・冬季キャンプ体験
- ・風穴、大平星空ガイドツアー



	<div data-bbox="518 224 1268 414"> <h3>3 公共施設の見直し</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・空き施設の活用、テレワーク受入施設の整備 ・丸瀬布活性化施設における商品製造を認めてほしい </div> <div data-bbox="518 414 1268 582"> <h3>4 その他</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍による失業者の受入ための対策（仕事のおっせん、移住費の支援） </div> <div data-bbox="518 638 1268 952"> <h3>4 まちづくり会議の今後について</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・役場から見て役に立っているなら続けた方がいい ・意見を出し合う機会が多い方がいい ・地域間での意見交換をもっとしたい ・こういう会議がないと、地域の意見が届きにくくなる </div>
<p>企画課長</p>	<p>次に白滝地域まちづくり会議の報告をお願いする。</p>
<p>白滝地域委員</p>	<p>※資料 2-4 により報告</p> <div data-bbox="502 1187 1284 1624"> <p style="text-align: right;">資料2-4</p> <h2 style="text-align: center;">白滝地域まちづくり会議 報告</h2> <hr style="width: 50%; margin: auto;"/> <p style="text-align: center;">R3.3.15（月）18：30～ 白滝国際交流センター研修室 4 白滝地域まちづくり会議一同</p> </div>

白滝地域まちづくり会議の開催状況

日時	場所	協議事項
3月30日（木） 18：00～20：50	白滝国際交流センター	・意見交換
7月14日（月） 18：30～21：05	白滝国際交流センター	・人を呼ぶ対策 ・公共施設の見直し ・ふるさと納税の促進 ・その他



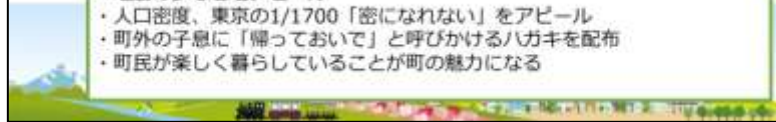
白滝地域まちづくり会議の討議テーマ

1. 人を呼ぶ対策
2. 公共施設の見直し
3. ふるさと納税の促進
4. まちづくり会議について



1 人を呼ぶ対策


- ・空家バンクなどによる空家活用
- ・通信環境の整備、光テレビの光ファイバー化
- ・空き店舗活用支援の地域制限の拡充
- ・仕事など「遠軽に住めばこんな暮らしができる」というメッセージを伝える媒体（上川町のワークスタイルブックが好例）
- ・保育所や学校は地域の実情に合った柔軟な運営をする（少人数の良さを生かす）
- ・仕事を作る（通年の仕事が少ない）
- ・地産の少なさをアピール
- ・人口密度、東京の1/1700「密になれない」をアピール
- ・町外の子息に「帰っておいで」と呼びかけるハガキを配布
- ・町民が楽しく暮らしていることが町の魅力になる



2 公共施設の見直し

- ・使わないものは売る
- ・売れる物件の情報提供
- ・役場庁舎の建て替え
- ・小中学校の義務教育学校化（学校は残す）
- ・空いている職員住宅の有効活用



	<p style="text-align: center;">3 ふるさと納税の促進</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆかりのある人をターゲットにする </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【返礼品アイデア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイスクリーム ・キャットスキー ・犬ぞり ・パン </div> </div> <p style="text-align: center;">4 まちづくり会議の今後について</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・役場が評価して判断すべき ・地域審議会の時より多様な意見が出て良くなった ・こういう会議がないと、地域の意見が届きにくくなる </div>
企画課長	4 地域からの報告について、質問等を受付する。
白滝地域委員	生田原の発表で、意見交換のプラットフォームという意見があったが、具体的な事例としてどのようなものが挙がっていたのか教えてほしい。
企画課主幹	企画課で代わりにお答えする。イメージとしては地域限定の SNS のようなもの。インターネットを利用したものの方がいいのか、集まって話をする方がいいのか色々あるが、意見交換をする場のことで、ざっくりとしたイメージとして出ている。
企画課長	次に令和 3 年度以降の会議のあり方について企画課より説明する。
企画課主幹	<div style="text-align: center;"> <p>資料3</p> <h2 style="color: orange;">令和3年度以降の 会議のあり方（案）</h2> <hr style="border: 1px solid orange;"/> <p>あくまで現時点での考え方であり、今後変更の可能性はある</p> </div> 

趣旨

- ・まちづくり会議の設置期間終了に伴い、地域の垣根なく若者や女性がいきいきと活躍する地域社会を実現するため、町政全般に対する意見交換を行う会議を置く
- ・若者や女性の感性を生かし、次のような視点から考えるまちづくりについての議論を期待
「観光まちづくり」「地方創生」「関係人口創出」「行政DX」「Society5.0」「SDGs」



形態

- ・委員は、概ね40歳代まで（選任時）又は女性とする
- ・全町で12名程度委嘱（各地域から2～3名程度選任+公募）する
- ・委員選任に当たり、まちづくり会議との継続性について一定程度配慮する
- ・委員任期は2年間、再任を妨げない
- ・開催頻度については、年3～4回程度とする
- ・設置期間は、令和3～4年度とする



審議事項

- ・「若者」「女性」がいきいきと活躍できるまちづくりに関すること
- ・遠軽町の魅力発信に関すること（移住定住促進、交流人口創出など）
- ・遠軽町における情報通信技術の活用に関すること
- ・遠軽町の持続可能なまちづくりに関すること
- ・子育て支援や教育に関すること
- ・その他若者や女性の視点を生かしたまちづくりに関すること



その他

- ・オンライン参加を可能とする
- ・ワークショップ形式や、学校等と合同会議の開催を検討



企画課長

委員の皆様からご意見・ご質問を受け付ける。

	なし
企画課長	最後に、町長から町の考え方を述べさせていただく。
町長	<p>さまざまな意見をいただいた。一つ一つ答えることはできないので、全体としてコメントをする。</p> <p>まず、議論のしかたについて、大きな組織に属していないと、こういった議論の場はないと思う。自分の意見が通ることはなかなかないと思うが、たくさん意見を出して前に進むしかない。</p> <p>会議では激論を戦わせただろうか？遠慮して意見を出しにくいと思うが、各会社や家庭であればそうはならないだろう。まちづくりは簡単なものではないので、これからも会議をしていくのであれば、そのことを考えて進めてほしい。</p> <p>また、論点整理がもう少し必要だったと思う。まちづくりは幅広いので、テーマを絞った方がよかったのではないかな。</p> <p>町村合併の優遇措置がなくなった。地域の垣根を取った議論が今後大事になってくる。</p> <p>私の政策の一つに共に働くまちづくりを掲げている。道の駅、町民センターも地域の方と一緒にあって時間をかけて練り上げてきた。昔から町民参加ということは言われていたが、「ガス抜き」「アリバイ作り」になることが多かった。もうそういったものはなくすべきだ。</p> <p>財政や人口の話をするとう議論が委縮するという意見があったが、それはそのとおりで、そういったものを取り払った意見交換も価値はある。ただ、現実に実行するには財政、人口を抜きにしてはまな板の上には上がらない。</p> <p>今後もしやるのであれば、財政制度なども踏まえてこういう施設はどうだというようなやり方になるといいものになるのではないかなと思う。</p> <p>よく言っているが、そう素晴らしいアイデアが出るものではない。だがあきらめずに、質の高いものにブラッシュアップしていかなくてはならない。</p> <p>たくさんの意見の中で「なるほど」というものもあるし、既に進めているものもある。光ファイバーについては令和 3 年度中に 100%カバーされるし、道の駅の開業もあり、企業からの問い合わせも来ている。少しずつ効果が見えつつある。</p> <p>これからは嫌なことも話し合わなくてはならない。来年からはそのへんもやっていただければ、すごい集団になると思う。</p>
企画課長	最後に委員の皆様から発言があればお願いする。

	遠軽地域委員	現在整備されている「メトロプラザ」だが、内部の設計状況を知りたい。
	企画課長	平成 28 年から検討協議会で協議を重ねてきて、その内容については広報紙、ホームページでお知らせしてきた。詳細な図面も掲載している。指定管理者に商工会議所が決定し、管理運営の部分を調整している。その内容についても同様にお知らせしたい。
	遠軽地域委員	大ホールはどのくらいの規模か。
	企画課長	大ホールは 600 席の規模である。福祉センターのホール並みの規模の小ホールも備える。
	遠軽地域委員	陶芸ができる設備はあるのか。
	企画課長	陶芸の機材も整備する。
	遠軽地域委員	わかった。
閉会	企画課長	以上で会議を終了する。

19 : 30 頃終了